



群馬県サッカー協会高体連記録用紙

マッチコミッサー	主審
----------	----

大会名	平成29年度 群馬県高校サッカー新人大会				マッチNo.		準決勝	第1試合			
日時	平成 30 年 2 月 10 日 (土) 10:30 K.O.	試合時間	80 分	試合会場	前橋育英高校サッカー場						
天候	晴れ 微風	ピッチ	人工芝	状態	良	温度	7 °C	湿度	33 %	観客数	300 人
主審	田嶋 和貴		副審	堤 宥太			第4審判	柳澤 宏太			
会場責任者	松嶋 隆広		副審	小林 将貴			記録担当者	橋本 知宜			

ユニフォーム	黄黒縦縞 / 黒 / 黄	6	2 前半	1	赤 / 赤 / 赤	ユニフォーム
			4 後半	0		
			延長前半			
			延長後半			

KICK OFF PK (KICK OFF)

交代時間	シュート			計	得点	選手名	背番号	位置	学年	Cap.	学年	位置	背番号	選手名	得点	計	シュート			交代時間
	延長	後半	前半														前半	後半	延長	
		0	0	0		山口 瞬	1	GK	2		2	GK	1	山口 翔音	0	0	0	0	0	63
		1	1	2	2	山原 康太	2	DF	2		2	DF	2	羽生 大輝	0	0	0	0	0	80+3
		0	1	1		若月 輝	5	DF	2	C	2	DF	4	閑野 力	0	0	0	0	0	73
		0	0	0		吉田 和暉	17	DF	2	C	2	DF	5	石原 史也	1	0	0	1	0	
		0	1	1	1	山田 涼太	29	DF	1		2	MF	7	小林 拓未	0	0	0	0	0	
		0	1	1		鎗木 瑞生	7	MF	2		2	MF	8	攪上 翔	1	0	0	1	0	
HT		0	2	2		小栗 秀哉	8	MF	2		2	MF	9	古賀 海斗	0	0	0	0	0	50
62		0	1	1		須田 晃輝	16	MF	2		2	MF	10	吉田 徹琉	0	0	0	0	0	
64		1	1	2	1	榎本 樹	11	FW	2		2	MF	19	大川 幸一	1	1	1	0	0	
HT		0	1	1		室井 慧佑	20	FW	2		2	FW	11	アギアル優	2	1	1	1	0	
64		0	1	1		深澤 康太	28	FW	2		1	FW	23	高槻 怜央	0	0	0	0	0	25
						梅田 勇輝	12	GK	2		1	GK	12	鶴田 爽太	0	0	0	0	0	1
						相原 大輝	3	DF	1		1	GK	25	佐藤 嶺						
						森 賢太郎	4	MF	2		2	DF	6	長谷川 天	0	0	0	0	0	4
16		1	0	1		岡本 悠作	6	MF	2		2	MF	13	杉森 勇介						
11		0	0	0		高橋 優斗	9	FW	2		2	FW	14	吉田 陽光	0	0	0	0	0	23
20		4	0	4	1	高橋 尚紀	10	FW	2		2	FW	24	高橋 駿貴						
						近藤 友喜	13	MF	2		2	MF	17	村澤 健斗	0	0	0	0	0	9
28		0	0	0		塚原 舜介	15	MF	2		2	DF	20	関谷 拓海						
8		0	0	0		森 隼平	22	MF	2		1	FW	21	武田 進輝	0	0	0	0	0	2
						渡邊 綾平	24	MF	1		2	MF	22	渡部 宝						
						松田 翼	26	DF	2		1	FW	15	栗原 拓海						

警告・退場				監督				監督				警告・退場				
時間	警・退	理由	背番号	山田 耕介				間野 健彦				時間	警・退	理由	背番号	氏名
44	警	C2	22	森 隼平												
				延長	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延長						
					7	10	17	シュート	5	2	3					
					4	4	8	GK	7	6	1					
					3	4	7	CK	3	1	2					
					1	5	6	直接FK	7	3	4					
					1	1	2	間接FK	2	1	1					
					0	0	0	PK	0	0	0					

【警告理由】 C1:反スポーツ的行為 C2:ラフプレイ C3:異議 C4:繰り返しの違反 C5:遅延行為 C6:距離不足 C7:無許可入 C8:無許可去
【退場理由】 S1:著しく不正なプレイ S2:乱暴な行為 S3:つば吐き S4:得点機会阻止(手) S5:得点機会阻止(他) S6侮辱 CS:警告2回

時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過(〜ドリブル、→ゴロ、↑浮き球、×混戦、Hヘディング、Sシュート)													
5	前橋育英	2 山原 康太郎	16 須田 晃輝	左CK	⑩	↑	中-1	②	HS								
29	常 磐	19 大川 幸一	9 古賀 海斗	右-1	⑪	↑	中-1	⑨	H	⑬	左足S						
35	前橋育英	29 山田 涼太	なし	左-2	⑪	↑	中-1	相手FK	H	こぼれ球	右-1	⑭	~	右足S			
57	前橋育英	10 高橋 尚紀	11 榎本 樹	中-2	⑪	~	→	中-1	⑩	2タッチ以上	左-1	左足S					
61	前橋育英	11 榎本 樹	なし	中-1	相手	ミス	⑪	左足S									
66	前橋育英	2 山原 康太郎	7 鎗木 瑞生	右CK	⑦	↑	中-1	②	HS								
67	前橋育英	オウンゴール	なし	右-1	⑭	↑	中-1	相手FK	オウンゴール								

【戦評】 記載者氏名 田中 則久 (高崎経済大学附属高校)

全国高校選手権初優勝の記憶の新しい前橋育英は全国の舞台でも大活躍したエース⑪榎本の攻撃力に期待がかかる。フォーメーションは伝統の4:4:2でスタートする。対する常磐は長身で抜群のフィジカルの強さに加えポストプレーに磨きがかかり成長が伺える⑩アギアルをトップに置き布陣を固める。5:3:2のフォーメーションであるが②羽生をリベロに置き他を密着型のマンツーマンディフェンスで対抗する。近年の前橋育英は選手権でも伺えるように、ショートパスに徹した攻撃にこだわり過ぎる事なく、密集からスペースへの展開を時折織り交せる。ゆえにフィジカルに優れた長身選手が一層の威力を発揮する場面が多くなり、この試合も前半5分にコーナーキックからあっさりDF②山原が高い打点からのヘディングシュート決め均衡を破る。育英は技術や戦術を駆使した展開に特徴を持つが実はフィジカルにも圧倒的な強さを見せる。双方のオフザボール時の適格なスペースの作り方がマッチアップに一層の迫力を与え、曲面の攻防に見ごたえを感じる。結果的には6対1の一方的なスコアとなり育英の強さが際立つものとなった。しかし、スタートから最後までフルパワーで闘い通した常磐高校も今シーズンの活躍を十分に感じさせるチームであった。